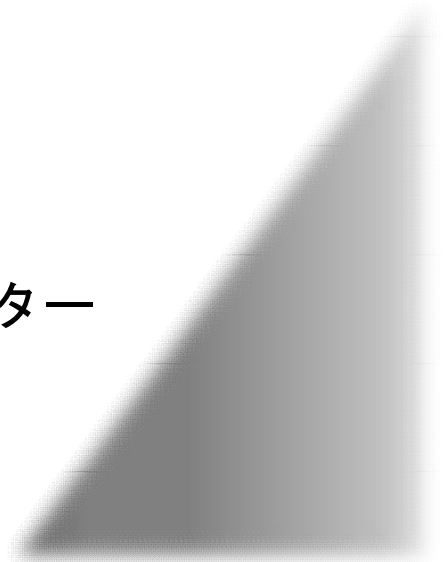


根室市介護保険事業計画 策定のための事業所調査 【結果報告書】

令和8年7月

根室市地域包括支援センター



1. 調査概要

(1) 調査の目的

本調査は、「根室市介護保険事業計画」の策定に資するために実施するものであり、事業所等の現状、介護保険サービスや高齢者保健福祉サービス等に関するニーズを把握し、根室市の実情に即した効果的な介護・福祉政策について、介護保険事業計画に反映させることを目的としています。

(2) 調査対象者

●根室市内の介護保険サービス事業所等 34箇所

居宅介護支援事業所	7箇所
訪問介護（ホームヘルプ）	5箇所
訪問看護	2箇所
通所介護（デイサービス）	7箇所
通所リハビリ（デイケア）	1箇所
特別養護老人ホーム	1箇所
介護老人保健施設	1箇所
認知症対応型共同生活介護（グループホーム）	3箇所
小規模多機能型居宅介護	1箇所
介護付有料老人ホーム	1箇所
住宅型有料老人ホーム	1箇所
養護老人ホーム	1箇所
特定施設	1箇所
福祉用具貸与事業所	2箇所

(3) 調査方法と調査期間

●調査方法：郵送配布、郵送回収

●調査期間：令和8年2月2日～令和8年2月18日

(4) 回収結果

配布件数	回収件数	回収率
34件	33件	97.1%

(5) 報告書を見る際の注意点

○ グラフ内の括弧書きの数値は前回調査時（第9期計画策定時）の数値を表しています。

問1. 事業所の現状について

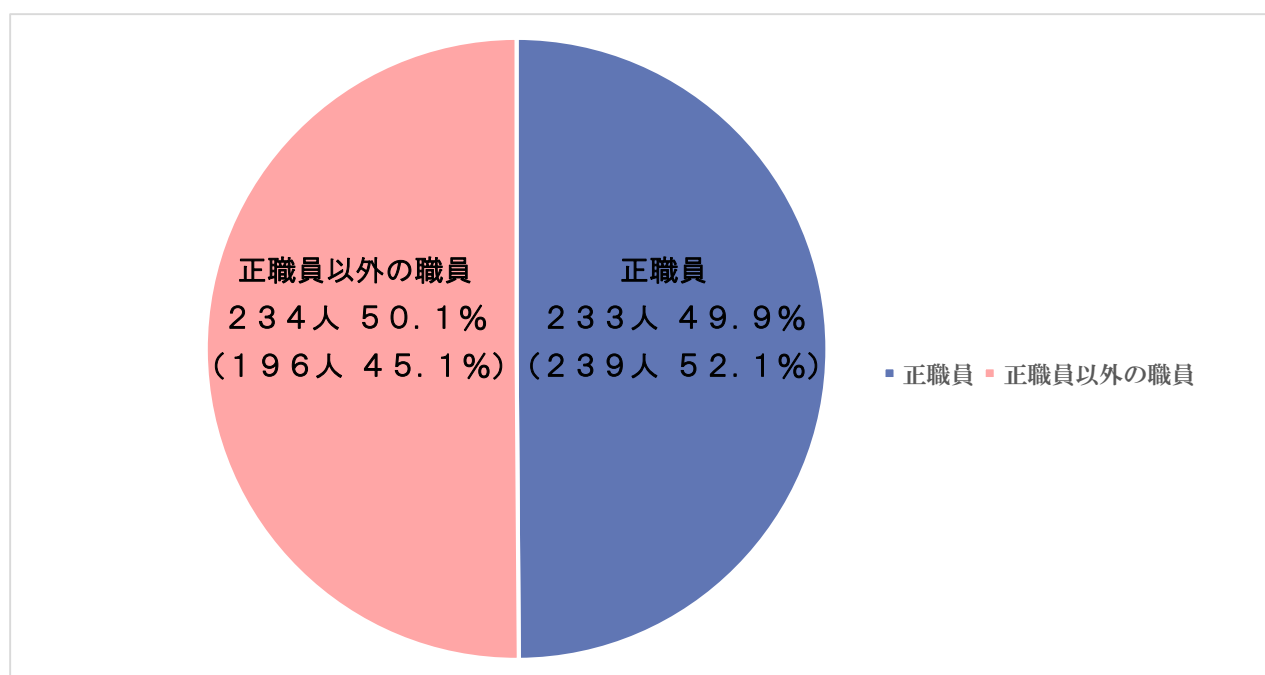
(1) 事業所の種別について

回答があった33箇所の事業所の内訳は、「居宅介護支援事業所」が7件(21.21%)、「通所介護」、「訪問介護」がそれぞれ5件(15.16%)、「グループホーム」が3件(9.09%)、「訪問看護」が2件(6.06%)、「介護付有料老人ホーム」、「福祉用具販売」、「小規模多機能型居宅介護」、「通所リハビリ」、「老人保健施設」、「特定施設」、「特別養護老人ホーム」、「養護老人ホーム」、「住宅型有料老人ホーム」がそれぞれ1件(3.03%)となった。

事業所の種別	回答数	構成比
居宅介護支援事業所	7	21.21%
通所介護	7	21.21%
訪問介護	5	15.16%
グループホーム	3	9.09%
訪問看護	2	6.06%
介護付有料老人ホーム	1	3.03%
福祉用具販売	1	3.03%
小規模多機能型居宅介護	1	3.03%
通所リハビリ	1	3.03%
老人保健施設	1	3.03%
特定施設	1	3.03%
特別養護老人ホーム	1	3.03%
養護老人ホーム	1	3.03%
住宅型有料老人ホーム	1	3.03%
合 計	33	100.0%

(2) 事業所の職員数について

回答があった33箇所の事業所の職員数については、「正職員」が233人、「正職員以外の職員」が234人で、合計が467人となった。



(3) 事業所の職員の配置状況について

回答があった33箇所の事業所の職員では、「介護職員」が210人で最も多く、次いで「訪問介護員」が70人、「その他」が62人、「看護職員」が44人となった。一方、不足している職種では、「介護職員」が29人で最も多く、次いで「訪問介護員」5人、「その他」が3人、「機能訓練指導員」が2人となった。

	職 員 数			不足して いる人数
	正職員	正職員以外	合 計	
生活相談員	21	1	22	1
計画作成担当者	26	5	31	1
うち介護支援専門員	(24)	(5)	(29)	(0)
介護職員	97	113	210	29
うち外国人	(8)	(3)	(11)	(0)
看護職員	21	23	44	0
訪問介護員	29	41	70	5
機能訓練指導員	15	9	24	2
栄養士	4	0	4	0
その他	20	42	62	3
合 計	233	234	467	41

※「その他」の内容：施設長・事務員・管理者・調理員・運転手

(4) 事業所の職員（正職員）の年齢構成について

回答があった33箇所の事業所の正職員の年齢構成では、40代が69人と最も多く、次いで10代～30代が67人、50代が51人、60代が42人、70代以上が4人となっている。

	正 職 員				
	10～30代	40代	50代	60代	70代以上
生活相談員	4	11	3	3	0
計画作成担当者	2	12	5	5	2
うち介護支援専門員	(1)	(11)	(5)	(5)	(2)
介護職員	36	23	22	16	0
看護職員	5	4	2	9	1
訪問介護員	5	10	10	4	0
機能訓練指導員	8	2	1	4	0
栄養士	1	0	2	0	1
その他	6	7	6	1	0
合 計	67	69	51	42	4

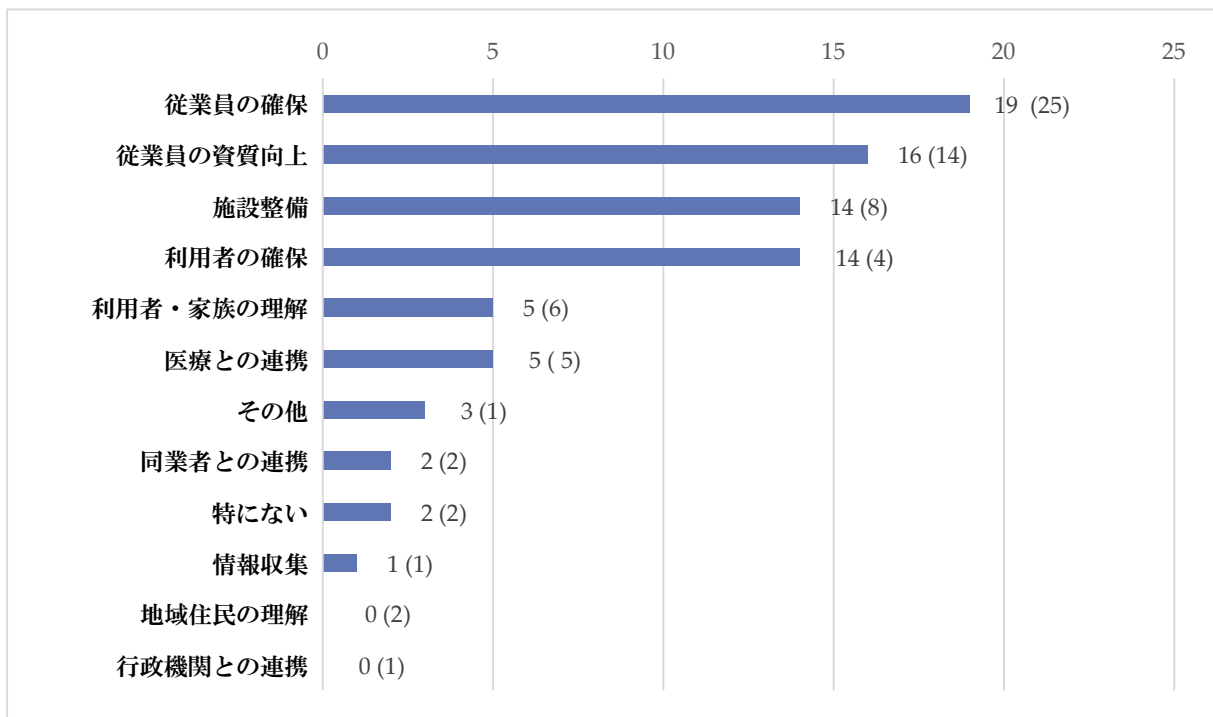
(5) 事業所の職員（正職員以外）の年齢構成について

回答があった33箇所の事業所の正職員以外の年齢構成では、60代が65人と最も多く、次いで10代～30代が53人、50代が45人、40代が44人、70代以上が27人となった。

	正職員以外				
	10～30代	40代	50代	60代	70代以上
生活相談員	0	1	0	0	0
計画作成担当者	0	1	1	2	1
うち介護支援専門員	(0)	(1)	(1)	(2)	(1)
介護職員	39	18	20	28	8
看護職員	1	6	5	9	2
訪問介護員	9	8	8	11	5
機能訓練指導員	0	3	3	2	1
栄養士	0	0	0	0	0
その他	4	7	8	13	10
合 計	53	44	45	65	27

(6) 事業所を運営していく上で、困っていることはありますか。

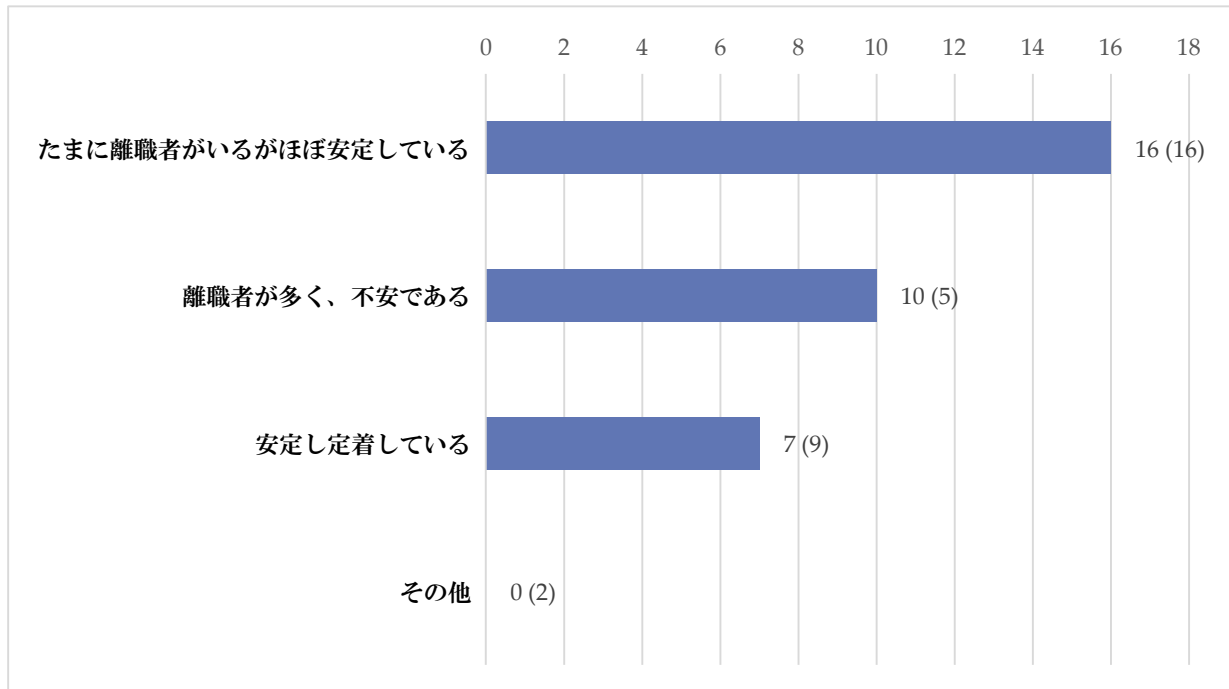
事業所を運営していく上で、困っていることでは、「従業員の確保」が19件と最も多く、次いで「従業員の資質向上」が16件、「施設整備」「利用者の確保」が14件で並んだ。



※「その他」の内容：経営の低迷 赤字経営

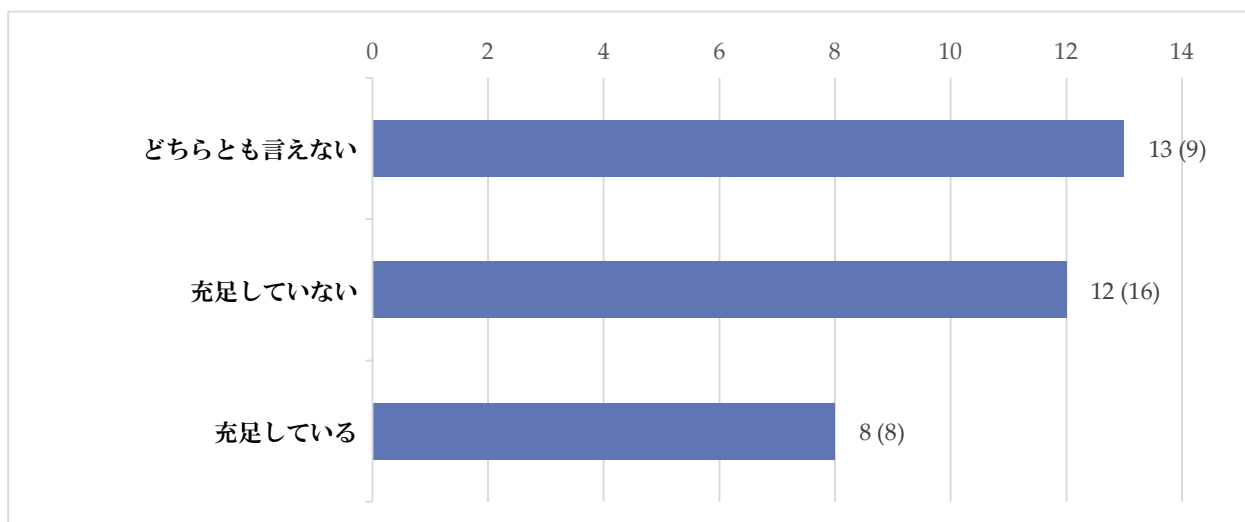
(7) 職員の定着について

回答があった33箇所の事業所のうち、「たまに離職者がいるがほぼ安定している」が16件で最も多く、次いで「離職者が多く、不安である」が10件となり、「安定し定着している」が7件にとどまった。



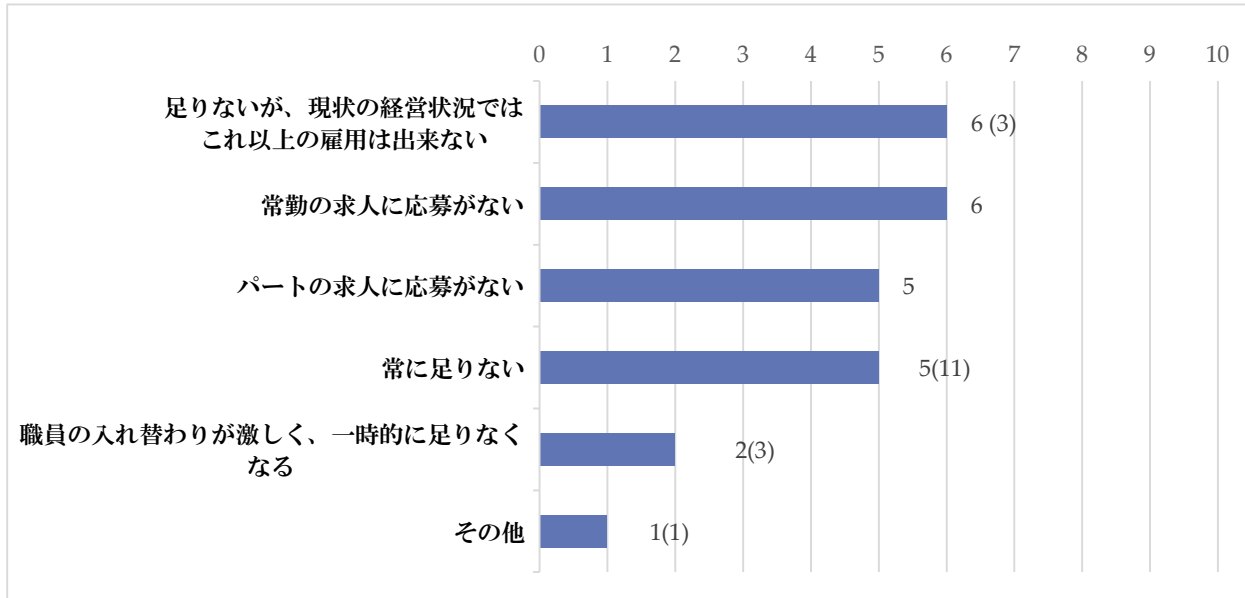
(8) 職員数は充足していますか。

職員の充足状況について、「どちらともいえない」が13件と一番多く、次いで「充足していない」が12件、「充実している」は8件となった。



(9) 職員数が充足していない状況について

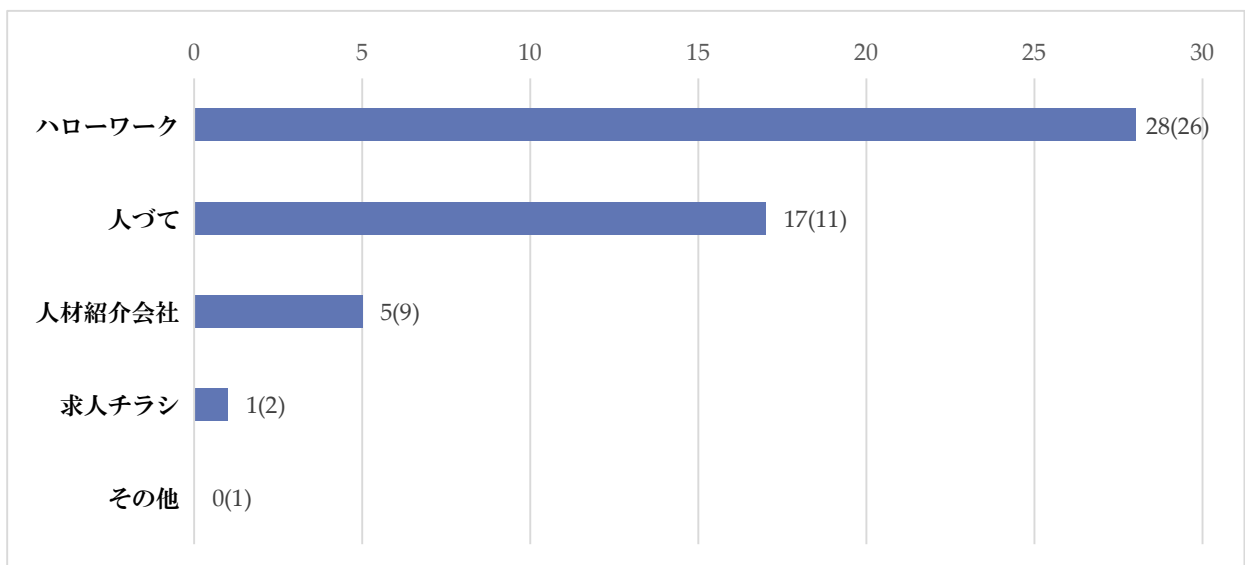
「職員数が充足していない」「どちらともいえない」と回答した事業所のうち、「経営状況的にこれ以上雇用できない」「常勤の求人に応募がない」が共に6件で、次いで「パートの求人に応募がない」「常に足りない」が共に5件となっている。



※「その他」の内容：夜勤を担える職員がいない

(10) 人員確保において、どのような方法で求人を行っていますか。

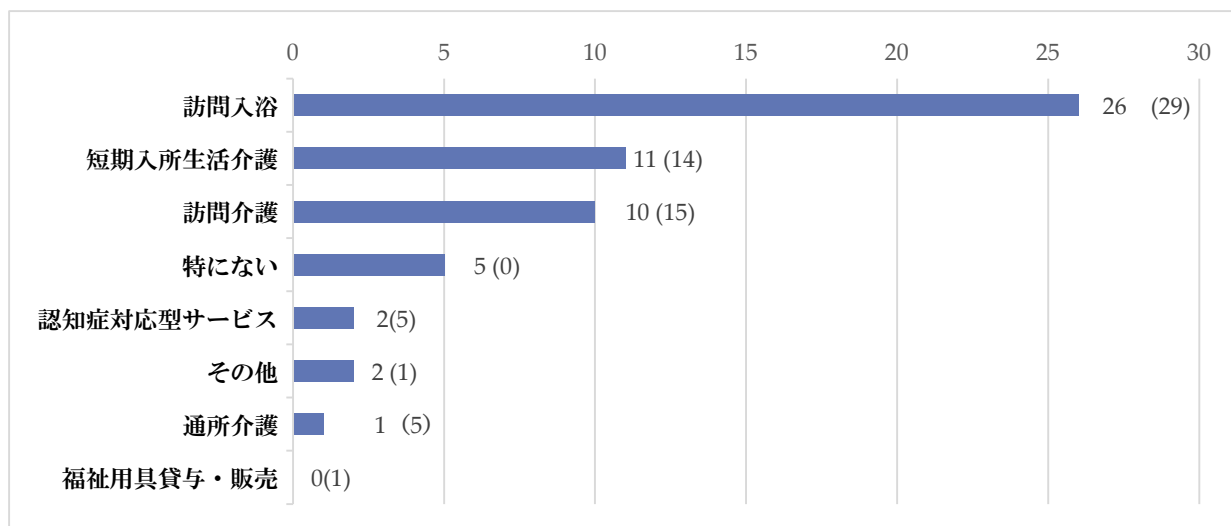
人員確保の方法において「ハローワーク」が28件、次いで、「人づて」が17件、「人材紹介会社」が5件、「求人チラシ」が1件となった。



問2. サービスの現状と課題について

(1) 市内で不足していると思う在宅サービスはありますか。

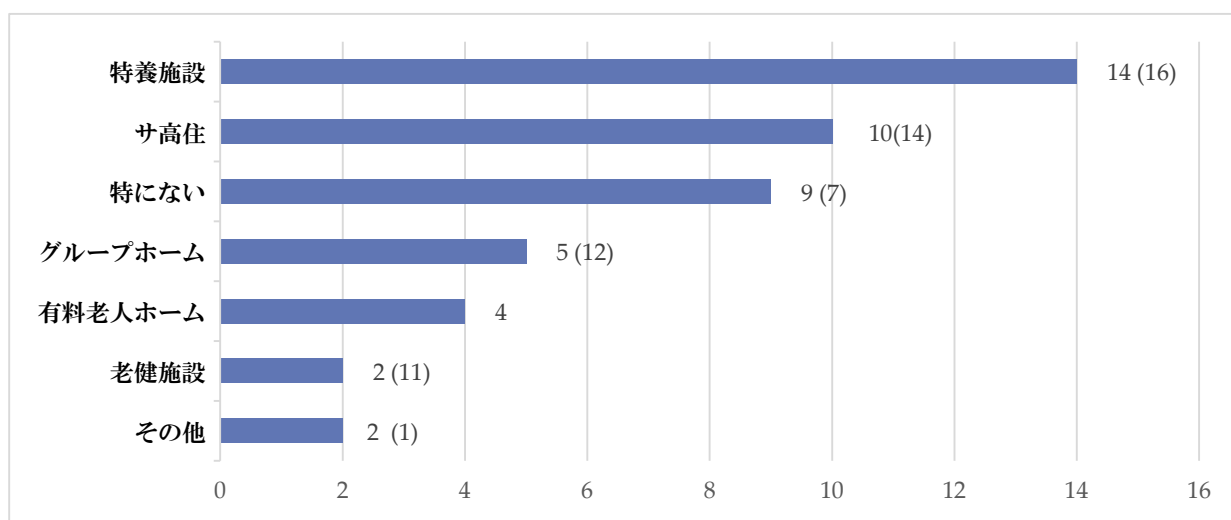
市内で不足していると思う在宅サービスについて、「訪問入浴」が26件で最も多く、次いで「短期入所生活介護」が11件、「訪問介護」が10件、「特にない」が5件となった。



※「その他」の内容：看護小規模多機能型居宅介護、介護度に関係なく入居できる高齢者施設

(2) 市内で不足していると思う施設サービスはありますか。

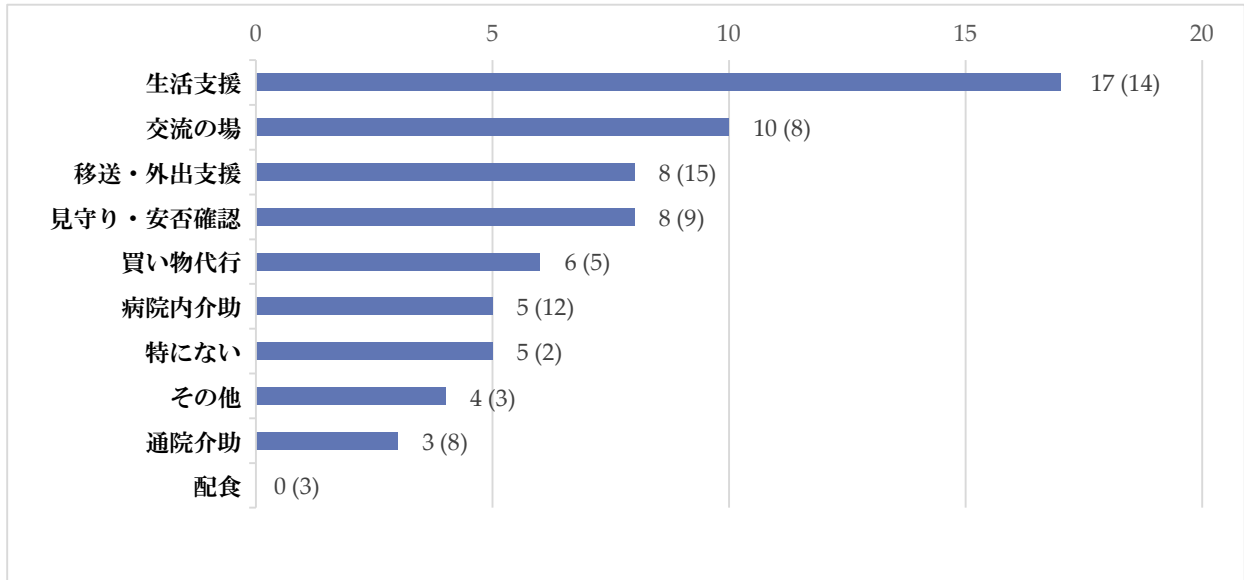
市内で不足していると思う施設サービスは、「特養施設」が14件で最も多く、次いで「サ高住」が10件であったが、「特にない」も9件見られた。以下「グループホーム」が5件、「有料老人ホーム」が4件、「老健施設」が2件、「その他」が2件となっている。



※「その他」の内容：軽費老人ホーム、地域密着型特別養護老人ホーム

（３）市内で不足していると思う介護保険以外のサービスはありますか。

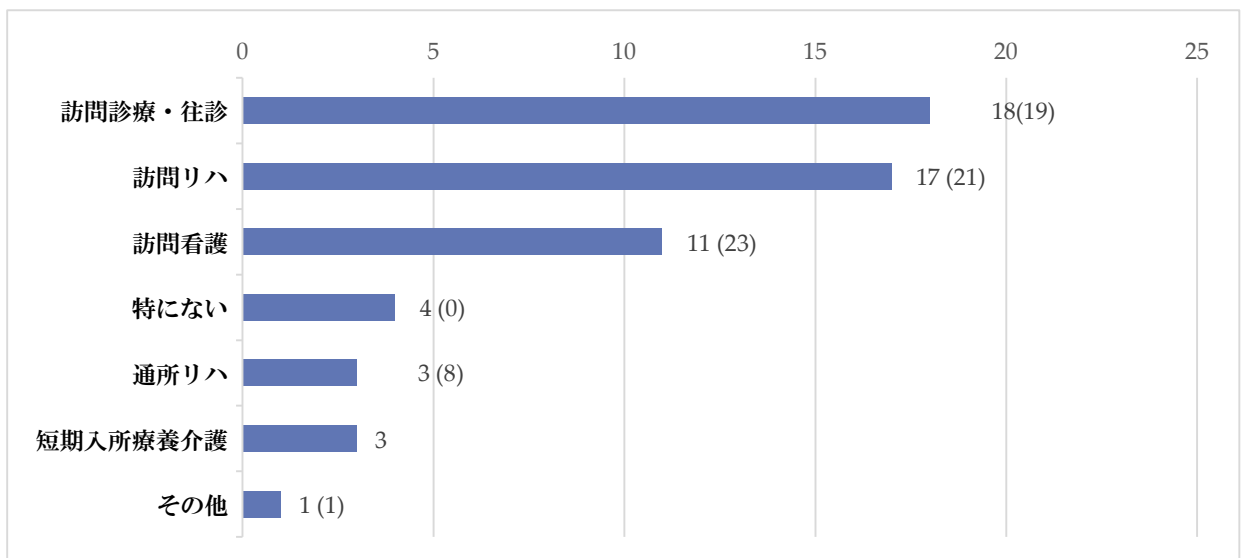
市内で不足していると思う介護保険以外のサービスでは、「生活支援」が 17 件と最も多く、次いで「交流の場」が 10 件、「移送・外出支援」「見守り・安否確認」が共に 8 件、「買い物代行」が 6 件、「病院内介助」「特にない」が共に 5 件となった。以下、「その他」が 4 件、「通院介助」が 3 件となっている。



※「その他」の内容：無料もしくは安価でニーズに柔軟に対応でき、ケアマネのシャドーワークを補えるもの、除雪

（４）市内で不足していると思う医療系サービスはありますか。

市内で不足していると思う医療系サービスでは、「訪問診療・往診」が 18 件で最も多く、次いで「訪問リハ」が 17 件、「訪問看護」が 11 件、「特にない」が 4 件となった。以下、「通所リハ」「短期入所療養介護」が共に 3 件、「その他」が 1 件となっている。

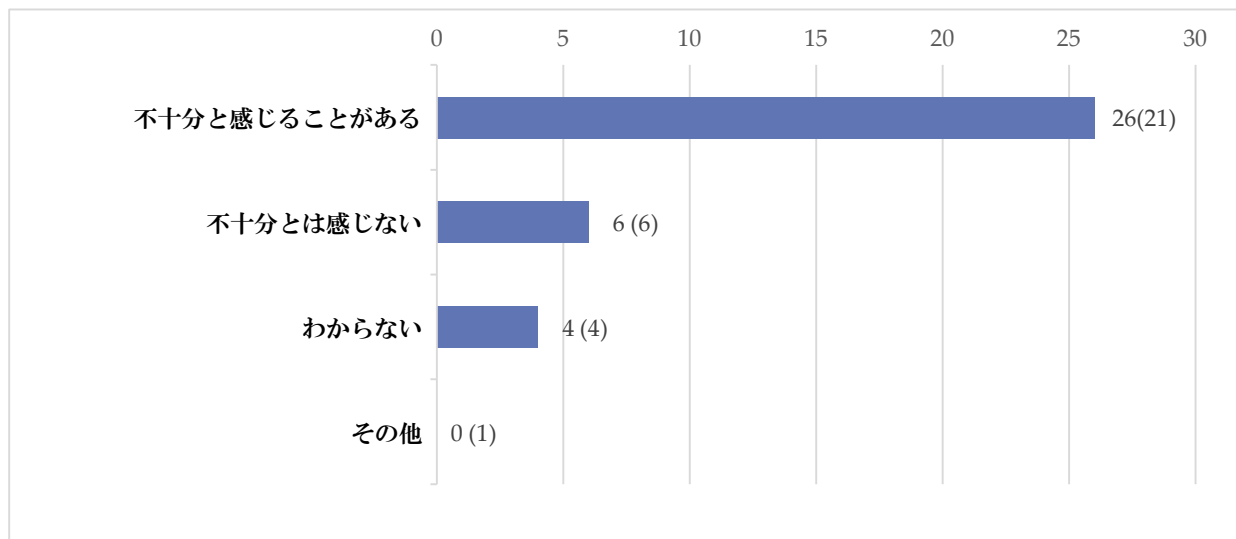


※「その他」の内容：定期巡回随時訪問介護看護、緊急時に対応できる訪問看護

問3. 家族等の介護力について

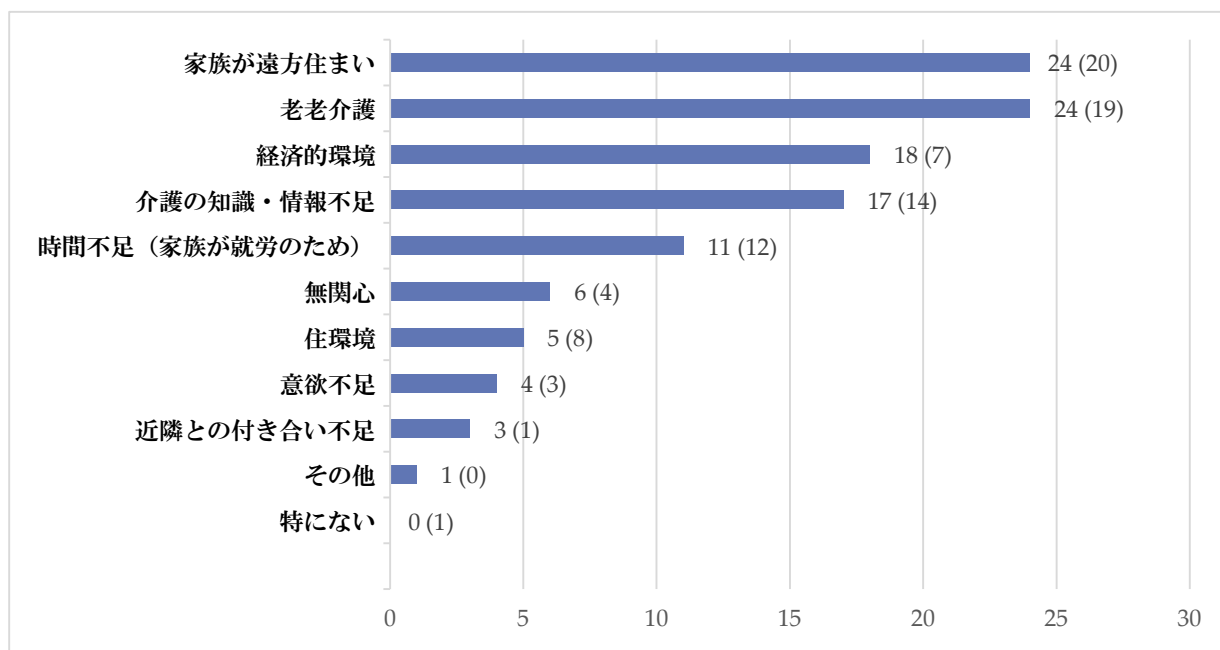
(1) 家族等の介護力について

家族等の介護力については、「不十分と感じることがある」が26件と最も多く、「不十分とは思えない」が6件となった。



(2) 家族等の介護力が不十分と感じる内容について

家族等の介護力が不十分と感じる内容については、「家族が遠方住まい」「老老介護」が24件で並び、「経済的環境」が18件、「介護の知識・情報不足」が17件と続いた。「時間不足」11件、「無関心」6件、「住環境」が5件等となっている。

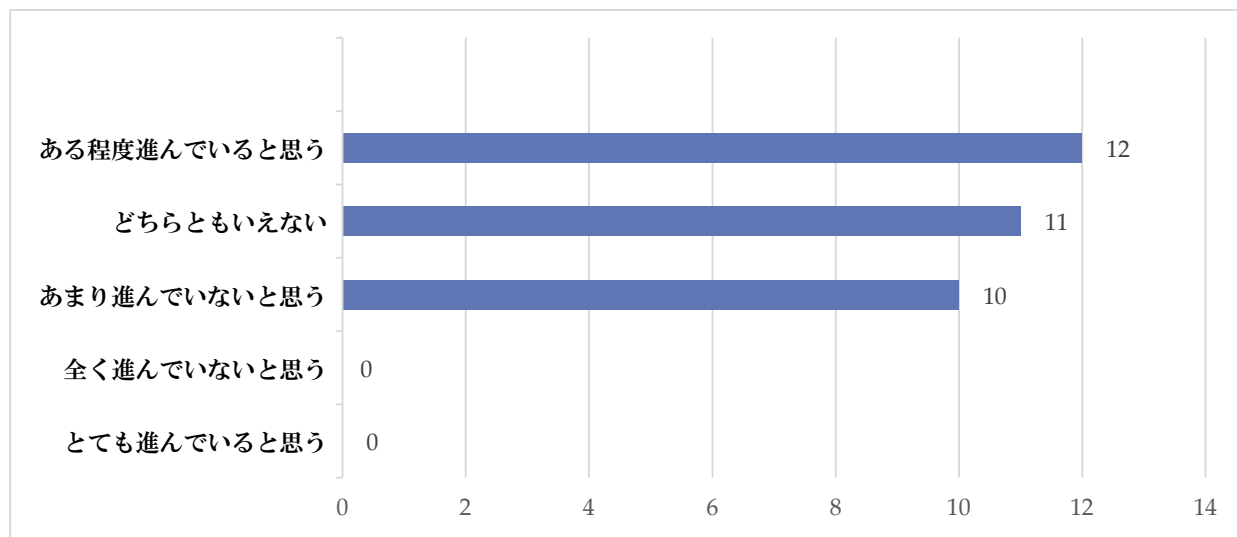


※「その他」の内容：精神疾患の要素がある場合

問4. 認知症に対する取り組みについて

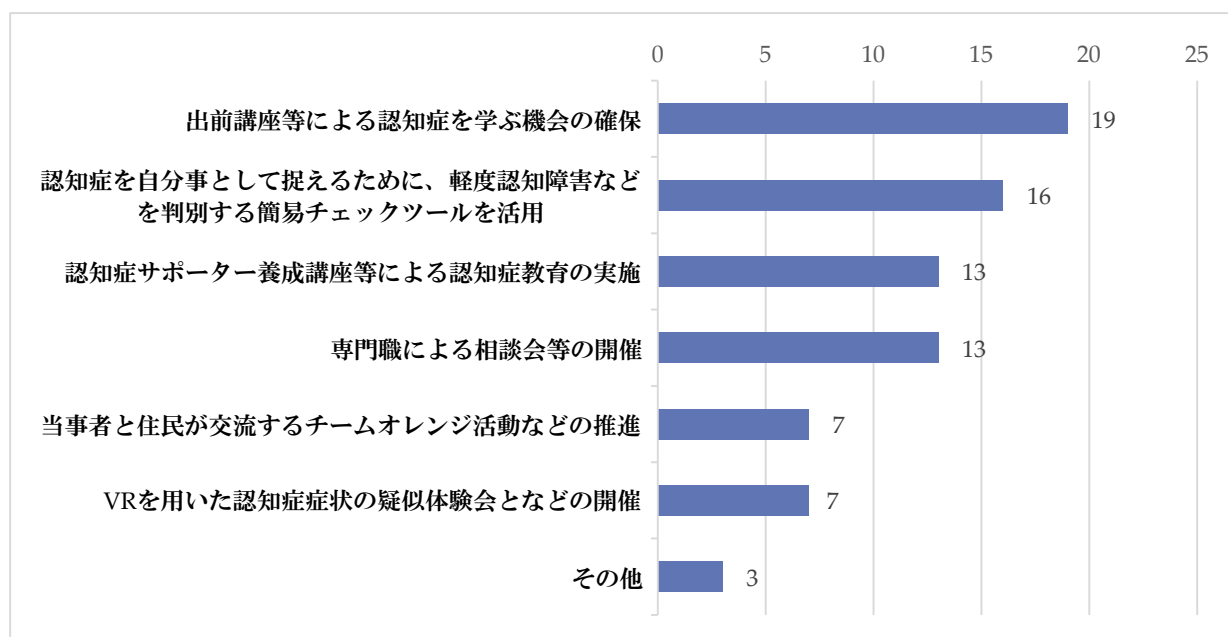
(1) 認知症について、市民の理解は進んでいると思いますか

認知症の市民理解については、「ある程度進んでいると思う」が12件、次いで「どちらともいえない」が11件、「あまり進んでいないと思う」も10件となっている。



(2) 認知症への理解をより進めるために、どのような取り組みが必要だと思いますか

「出前講座等による認知症を学ぶ機会の確保」が最も多い19件、次いで「軽度認知障害などを判別する簡易チェックツールを活用」が16件となり、「認知症教育」「相談会の開催」が13件で並んだ。以下「チームオレンジ活動などの推進」「疑似体験会の開催」が同数の7件、「その他」3件となっている。

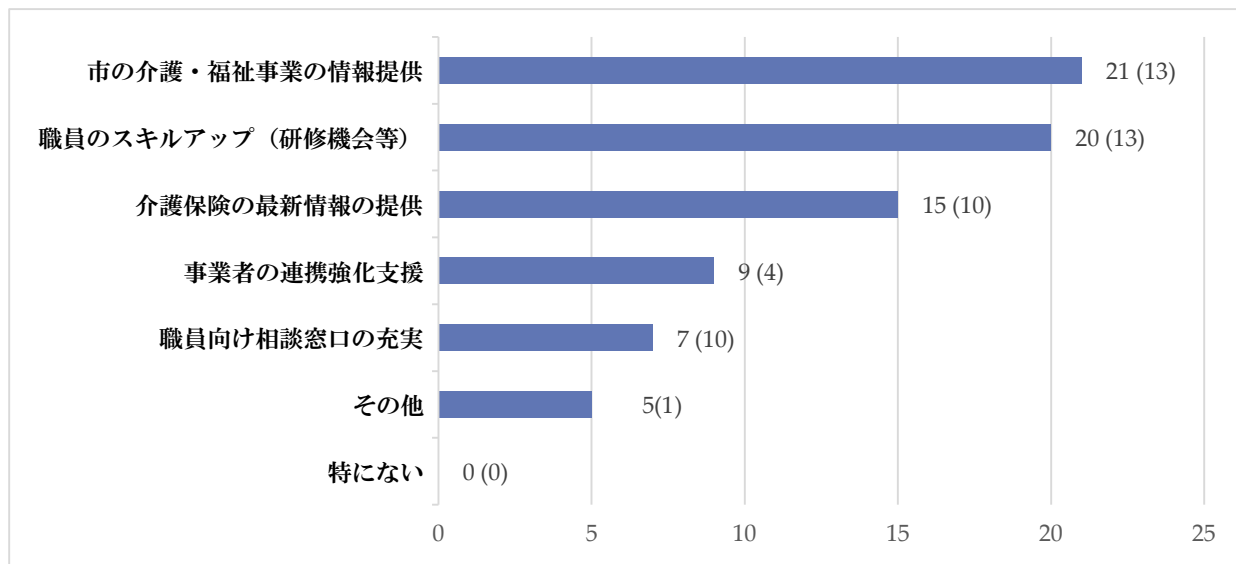


※「その他」の内容：介護者同士が集える場の構築、チラシ等での周知

問5. 行政等の支援について

(1) 行政の支援が必要だと思うことはありますか。

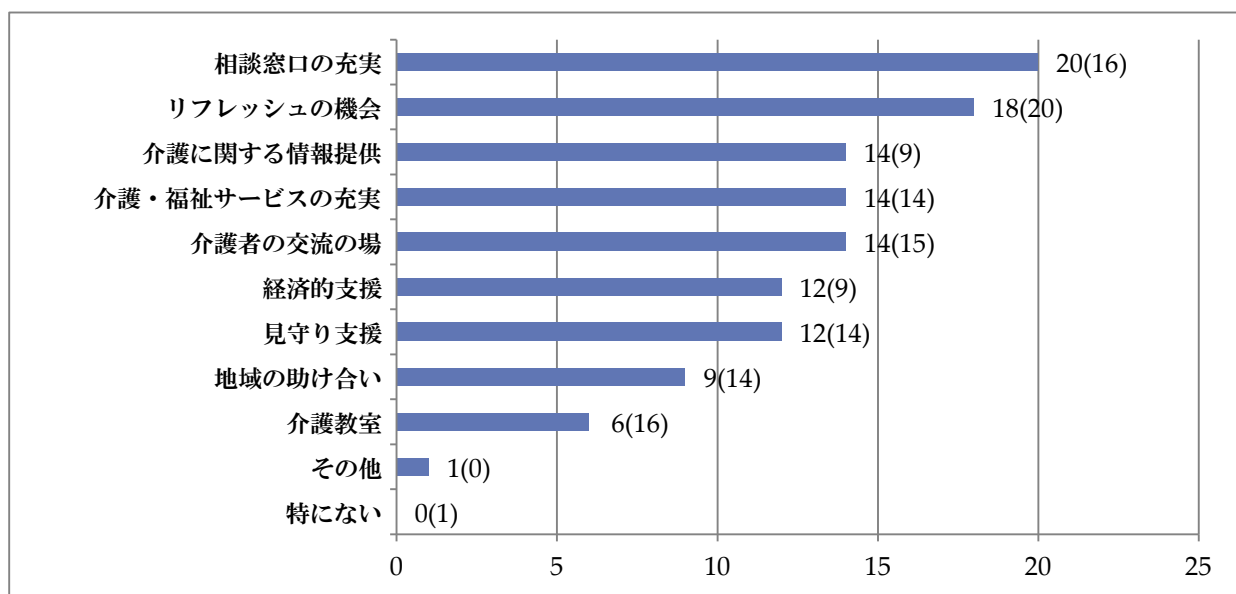
行政の支援が必要だと思うことでは、「市の介護・福祉事業の情報提供」が21件と最も多く、「職員のスキルアップ」が20件とそれに続いた。以下「介護保険の最新情報の提供」が15件、「事業者の連携強化支援」9件、「職員向けの相談窓口の充実」7件、「その他」5件となった。



※「その他」の内容：意見交換・情報交換の場づくり、身寄り無し問題への対応 等

(2) 介護者に対して必要と思う支援はありますか。

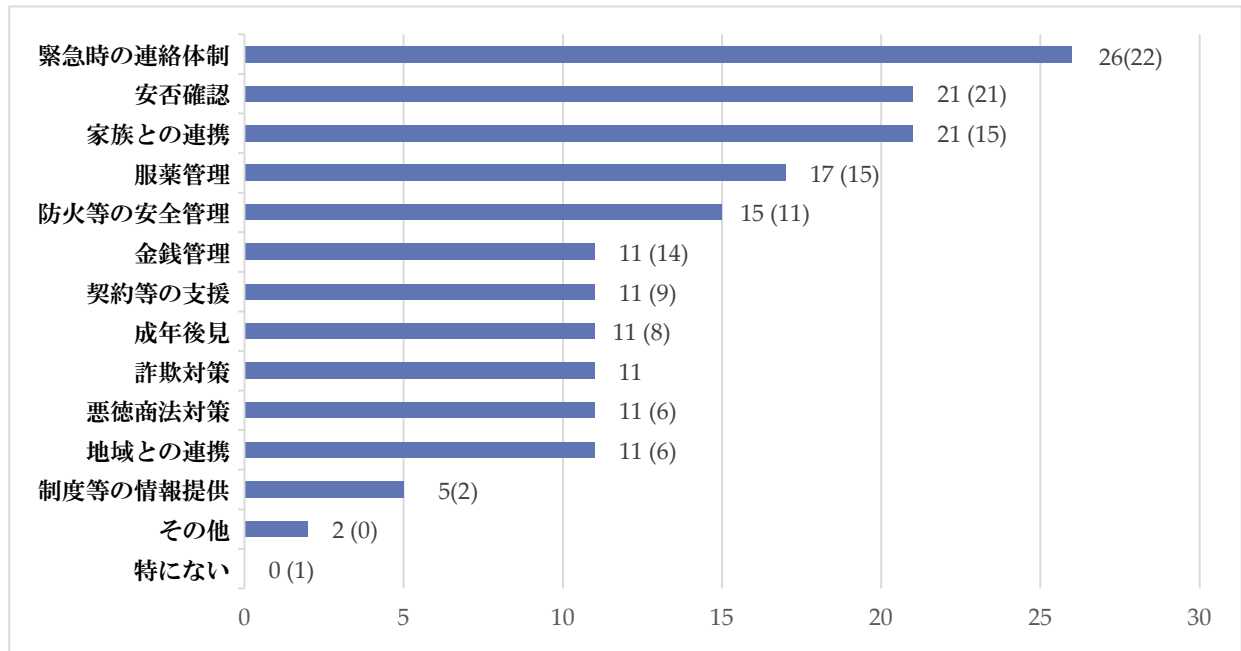
行政等の支援で介護者に対して必要と思う支援では、「相談窓口の充実」が20件と最も多く、次いで「リフレッシュの機会」が18件となり、「介護に関する情報提供」「介護・福祉サービスの充実」「介護者の交流の場」がそれぞれ14件で並んだ。「経済的支援」「見守り支援」も12件と同数となった。以下「地域の助け合い」9件、「介護教室」6件、「その他」1件と続いている。



※「その他」の内容：夜間の介護サポート

(3) 一人暮らし高齢者に対して必要と思う支援はありますか。

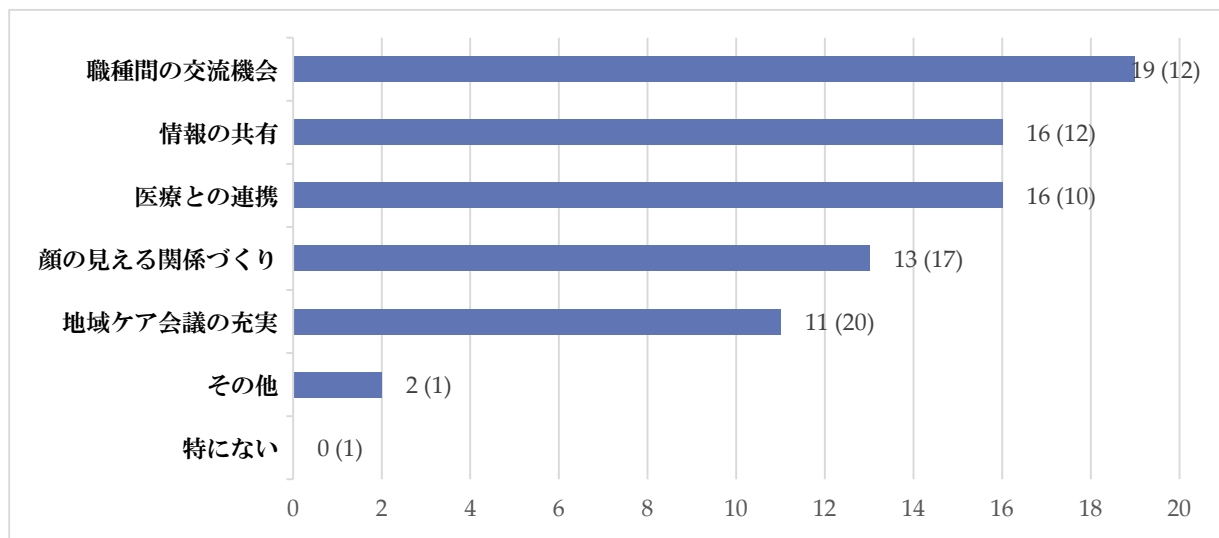
行政等の支援で一人暮らし高齢者に対して必要だと思う支援では、「緊急時の連絡体制」が最多の 26 件で、次いで「安否確認」「家族との連携」が 21 件で同数となった。以下「服薬管理」17 件、「防火等の安全管理」15 件等が続いている。



※「その他」の内容：身寄り無し問題への対策

(4) 地域のネットワークづくりで必要と思うことはありますか。

地域のネットワークづくりで必要と思うことでは、「職種間の交流機会」が 19 件と最も多く、次いで「情報の共有」「医療との連携」が 16 件で並んだ。以下「顔の見える関係づくり」13 件、「地域ケア会議の充実」11 件、「その他」2 件となっている。



※「その他」の内容：除雪、ICT 化支援等

問6. サービスの新規参入について

〔1〕第10期計画期間において、新規での参入を予定しているサービスはありますか。

第10期計画期間（令和9年度～令和11年度）における新規での参入を予定しているサービスについて、「新規に参入する予定がある」と回答した事業所は1件であり、訪問看護、住宅型有料老人ホームを検討しているとのこと。参入時期は未定である。

問6. 施設等の建替・大規模改修について

〔1〕第10期計画期間において、施設等の建替・大規模改修の予定はありますか。

第10期計画期間（令和9年度～令和11年度）における施設等の建替・大規模改修の予定について、「施設の建替・大規模改修の予定がある」と回答した事業所は無かった。

◎第10期介護保険事業計画の策定に関して、ご意見・ご要望等について（自由記載）

- ・ 訪問入浴の再開
- ・ 見守りカメラ等の ICT 活用への助成
- ・ 介護者や本人が地域とつながれるような啓発活動
- ・ ケアマネ確保のため、ケアマネ従事者に毎月インセンティブ（月5千円～1万円くらい・受け持ち件数によって変動）
- ・ 身寄り無し問題等、現状ケアマネが対応できないことが多くなっており、負担が大きい。こういったことへの対応が、ケアマネの介護報酬の対象とならないサービス外の支援（シャドールワーク）の解消と利用者様の生活、生命を守る意味でも、とても重要なことだと思う。
- ・ 外国人介護職員を3名雇用しているが、いなければ事業所の業務が回らないのが現状。今後も求人日本人の応募がなければ、特定技能実習生を雇用しなければならないが、初期費用（住宅等）が大変な負担となっている。例えば、市営住宅を利用できる等、柔軟に支援してもらいたい。
- ・ 物価が高く、利用者に楽しんでもらえる行事を企画するが金銭面での負担を考えると、なかなか実施することができない。利用者負担を増やしすぎるのも難しい。市が企画する施設への訪問レクなどがあれば、施設、利用者の負担なくみんなが楽しんでもらえるのではと思った。
- ・ 外国人労働力の確保も必要だが、地元の活力を生かせる取り組みや、若い人が介護により興味をもって働くことができる環境づくりが必要
- ・ 高齢化が加速しており、老々介護が多く、また独居の方も多いと感じる。サービスを利用できている方は良いが、サービスを十分受けられていない方や、サービスの内容を知らない方も多く、潜在的にサービスが必要な方がたくさんいるのではないかと心が痛む。できるだけ地域の方が平等にサービスを受けることができるように、介護福祉の充実が図れば良いと思う。
- ・ 24時間体制整備の補助金支援（訪問看護事業所のことと思われる）
- ・ 24時間緊急対応もしくは相談体制（訪問看護事業所のことと思われる）
- ・ 転落転倒後の体動困難時のサポートサービス
- ・ 介護サービス事業所利用者対応に関する送迎や訪問時のガソリン代補助事業
- ・ 災害時要支援介護者への市全体情報共有、ICT サービスの構築
- ・ 介護事業所の光熱費の助成
- ・ 外国人の雇用に関しての補助金と根室市独自の介護保険事業所への補助等があれば良いと思う